

第七十五回帝國議會
衆議院

所得稅法改正法律案外三十件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案

所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法案(政府提出)(第八號)
特別法人稅法案(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法案(政府提出)(第一〇號)
外債特別稅法案(政府提出)(第一一號)
相續稅法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
建築稅法案(政府提出)(第一三號)
鑛區稅法案(政府提出)(第一四號)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
營業稅法案(政府提出)(第一六號)
地租法中改正法律案(政府提出)(第一七號)
酒稅法案(政府提出)(第一八號)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二〇號)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二一號)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第二二號)
物品稅法案(政府提出)(第二三號)
遊興飲食稅法案(政府提出)(第二四號)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第二五號)
通行稅法案(政府提出)(第二六號)
入場稅法案(政府提出)(第二七號)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第二八號)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)(第二九號)
符號法中改正法律案(政府提出)(第三〇號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅、織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)(第三一號)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)(第三二號)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)(第三三號)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)(第三四號)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)(第三五號)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)(第三六號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第三七號)
地方稅法案(政府提出)(第三八號)
地方分與稅法案(政府提出)(第三九號)
府縣制中改正法律案(政府提出)(第四〇號)
市制中改正法律案(政府提出)(第四一號)
町村制中改正法律案(政府提出)(第四二號)
北海道會法中改正法律案(政府提出)(第四三號)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第四四號)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第四五號)

會議

昭和十五年二月二十三日(金曜日)午前十時
二十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 堀切善兵衛君

理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君

理事木村 淺七君 理事高橋熊次郎君

理事小笠原三九郎君 理事立川 平君

理事河野 密君

山本 榮吉君 成島 勇君

池本甚四郎君 內藤 正剛君

長野 長廣君 愛野時一郎君

川崎 克君 渡邊玉三郎君

櫻井兵五郎君 宮本雄一郎君

船田 中君 森 肇君

森田 福市君 西川 貞一君

瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君

鈴木 英雄君 田方 清臣君

佐竹 晴記君 北 勝太郎君

二月二十三日委員津倉龜作君辭任ニ付其ノ
補闕トシテ飯田助夫君ヲ議長ニ於テ選定セ
リ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 鶴見 祐輔君

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法改正法律案(政府提出)

法人稅法案(政府提出)

特別法人稅法案(政府提出)

配當利子特別稅法案(政府提出)

外貨債特別稅法案中改正法律案(政府提出)

相續稅法案中改正法律案(政府提出)

建築稅法案(政府提出)

礦區稅法案(政府提出)

臨時利得稅法案中改正法律案(政府提出)

營業稅法案(政府提出)

地租法案中改正法律案(政府提出)

酒稅法案(政府提出)

清涼飲料稅法案中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法案中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法案中改正法律案(政府提出)

揮發油稅法案中改正法律案(政府提出)

物品稅法案(政府提出)

遊興飲食稅法案(政府提出)

取引所稅法案中改正法律案(政府提出)

通行稅法案(政府提出)

入場稅法案(政府提出)

印紙稅法案中改正法律案(政府提出)

骨牌稅法案中改正法律案(政府提出)

狩獵法中改正法律案(政府提出)

明治四十四年法律第四十五號中改正法律
案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關
スル件)(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案
(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル
物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

支那事變特別稅法及臨時租稅徵收法廢止
法律案(政府提出)

營業收益稅法廢止法律案(政府提出)

資本利子稅法廢止法律案(政府提出)

法人資本稅法廢止法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提
出)

○堀切委員長 是ヨリ開會致シマス、西川
君ニ一寸申上ゲマス、アナタノ御要求ノ大
藏大臣ハ、貴族院ニ於ケル豫算案說明ノ關
係上出席出來ナイサウデアリマスガ、ソレ
デ宜シウゴザイマスカ、內務大臣ハ間モ
ナク御出席ニナルサウデアリマス

○西川委員 ソレデハ大藏大臣ニ對スル質
問ハ保留致シテ置キマシテ、御出席ノ時ニ御
伺スルコトニ致シマシテ、此ノ場合ハ事務的
ノ質問ヲ致シテ置キマス

大藏當局ニ御伺致シマスガ、今回ノ分類
所得稅ハ、大體ノ建前ニ於キマシテ、從來
ノ補完稅ヲ所得稅ニ吸收サレタコト云フコト
デハナイカト思フノデアリマス、詰リ地租、
營業收益稅ヲ地方ニ地方財源トシテ委讓サ
レタコト云フ形ニナツテ居リマスケレドモ、
從來國稅トシテ取ツテ居ラレタ部分ヲ分類
所得稅ニ吸收シテ、從來地方附加稅トシテ
取ツテ居ツタ部分ヲ還付稅トシテ地方財源
ニ讓與サレタ、實質ハ斯ウ云フ形ニナツテ
居ルト思ヒマスガ、其ノ點ニ對スル大藏當
局ノ見解ヲ伺ヒマス

○大矢政府委員 此ノ度ノ所得稅ハ、度々
申上ゲマス通り分類所得稅ト綜合所得稅ト

ノ二ツニ區分致シマシテ、兩者ガ相倚リ相扶
ケテ、所得ノ種類ニ應ズル負擔力ノ相違、
所得ノ高ニ應ズル負擔力ノ相違ト云フモノ
ヲ見テ課稅シテ、負擔ノ均衡ヲ圖ラウトシ
テ居ルノデアリマス、從來ノ第三種所得稅
ニ於キマシテハ、所得稅ヲ中樞ト致シマシ
テ、收益稅制度ヲ以テ之ヲ補完スルト云フ
建方ヲシテ居タノデアリマスカラ、全體ノ
稅ノ建方ハ違フノデアリマスガ、御尋ノ收
益稅ノ機能ヲ分類所得稅ノ方ニ吸收シテ居
ルノデハナカラウカ、斯ウ云フコトニナリ
マスレバ、或ル程度サウ云フ分子モ含マレ
テ居ルト云フコトハ申上ゲラレカト思ヒ
マスケレドモ、收益稅其ノモノヲ總テ分類
所得稅ノ方ニ吸收シタコト云フコトデモナイ
ト存ジマス、從來ノ第三種所得稅ノ建方ト、
今度ノ分類所得稅、綜合所得稅ノ建方トハ
全然違ツテ居リマスカラ、違ツテ居ルモノ
ヲ持ツテ來テ、其ノ一部ノモノヲ直チニ其
ノ儘吸收シテ、斯ウ申上ゲルト、ソコニ自ラ
或ル誤ガ起ツテ來ルコト存ジマス

○西川委員 ソレハ御說明ノ言葉ノ綾デス
ガ、客觀的ニハ、實際問題トシテ從來ノ補
完稅ヲ吸收サレテ、所得稅一本ニ統一サレ
タモノト見ル外ハナイ、是ハ當局ガドウ説
明サレテモ、客觀的事實ハ全ク其ノ通りデ
アリマス、此ノ點ニ付テハ全然御否定ニナ
リマセヌノデ、其ノ以上追究致シマセヌガ、
サウ云フ建前カラ致シマシテ、從來營業收
益稅ヲ課セラレナカツタ營業、例ハ農林、
水産業ノ如キハ、他ノ從來收益稅ヲ課セラ
レテ居リマシタ所得ニ對スル課稅ニ對比シ
マシテ、從來收益稅ヲ課セナカツタ水産業
其ノ他ノモノニ對スル課稅ハ、負擔關係ガ
不當ニ重クナルト考ヘラレルノデアリマス

ガ、是ハドウ云フコトデアリマスカ

○大矢政府委員 從來ハ所得稅ヲ中樞ト致シマシテ、收益稅制度ヲ以テ補充シテ居リマスガ、收益稅ノ中ニ如何ナルモノヲ拾ツテ居ルカト申シマス、御示ノ通り或ハ地租トカ營業收益稅、資本利子稅、更ニ地方稅デアリマスケレドモ家屋稅ト云フモノガアツタト存ズルノデアリマス、是デ一體所得稅ニ對スル補充稅トシテ全部網羅サレテ居ルカドウカト云フコトニ付テモ、相當議論ノ餘地ガアルカト存ジマス、前ニ申上ゲマシタ通り、此ノ度ノ分類所得稅ニ於キマシテハ、此ノ收益稅ノ制度ヲ其ノ儘持ツテ來テ分類所得稅ニ吸收シタト云フ譯デハゴザイマセス、全然組立テ方違ヘマシテ、各所得ノ種類毎ニ、其ノ種類ノ異ルニ依ツテ負擔力ノ相違ノアル所ヲ見テ、サウシテ稅率ニ差等ヲ設ケテ課稅スルコトニシタ譯デアリマス、隨テ多少從來ノ收益稅ノ課稅ノ範圍外ノモノモ入ルノハ是ハ當然ノコトデゴザイマシテ、サウ云フモノヲ分類所得稅ノ中ニ取入レタカト云ツテ、ソレデ從來トノ負擔關係ニ於テ、寧ロ今度ノ改正ガドウデアラウカト云フヤウナコトモ一概ニハ言ハレナイ、要スルニ今度ノ改正案自體ニ於テ、果シテ各種ノ所得ノ種類間ノ負擔ノ均衡ヲ得ツアリヤ否ヤト云フコトガ、問題ノ要點ニナルカト、斯ウ存ジテ居リマス

度ニ於テハ非常ナ損失ヲ來スト云フガ如キモノニ對シテハ、特ニ課稅ノ上ニ於テ考慮サレテ居ツタカト思フノデアリマスガ、其ノ考慮ガ今回ノ制度ノ上ニ於テハナサレテ居ラナイ、從來收益稅ヲ課サレテ居ナカッタ理由ト、今回之ヲ他ノ所得ト同ジヤウニ扱ヒマシタコトノ間ニハ、ソコニ當局ノ一ツノ見解ガナクテハナラス、其ノ見解ヲ私ハ御伺シタイノデアリマス

○大矢政府委員 此ノ度ノ分類所得稅ハ、形ニ於テ收益稅制度ヲ其ノ儘取入レタト申上ゲ兼ネルト云フコトハ、度々御答シテ居ル通りデアリマシテ、獨リ水産業等ニ限ラズ、例ヘバ自由職業者デアリ醫師、辯護士等ニ付キマシテモ、從來別ニ收益稅ハ課カツテ居ナカッタノデアリマス、又俸給所得ニ付テモ收益稅ハ課カツテ居ナカッタノデアリマスガ、此ノ度ハ自由職業所得ニ付キマシテモ、勤勞所得ニ付キマシテモ、ソレゾレ負擔力ニ應ジタ稅率ヲ以テ、分類所得稅ヲ課稅シテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ點ニ於キマシテハ水産業等ト何等變ル所ハナイト考ヘテ居リマス

○西川委員 私ハ醫師等ノ自由職業者モ無論問題ニシテ居ル、詰リ醫師、自由職業者等ノ所得ガ、從來ハ勤勞所得ト同ジ取扱ヲ受ケテ居ル結果ニナツテ居ツタ、所ガ今回ハ分類所得稅ニ依ツテ、ソレ等ノ取扱ハ異ツテ來ル、ソレハドウ云フ根據ニ基クモノデアアルカ、從來收益稅ヲ課稅シナカッタノニハ、課稅シナカッタダケノ理由ガアツタニ違ヒナイ、詰リ收益稅ヲ課稅シナイダケソレダケ、ソレ等ノ所得ハ優遇サレテ居ツタ、其ノ優遇ヲ取止メタ理論的根據ガナクテハナラス、ソレヲ伺ヒタイ

○大矢政府委員 水産業等ハ他ノ營業收益稅ノ課稅ノ對象トナツテ居ルモノト同ジヤウニ、此ノ度取扱ハレルヤウニナツタ、從來ハソコニ差等ガアツタニ拘ラズ、今度ハ同様ニ取扱ハレタノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ風ニ伺ヒマシタガ、今回モ其ノ點ハ稅率ニ於テ差等ヲ設ケテ、負擔力ニ差異ガアルト、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマシテ、普通ノ商業所得ハ百分ノ八・五ノ稅率ニナツテ居リマスガ、原始産業所得ノ方ハ百分ノ七・五ト致シマシテ、百分ノ一ダケノ稅率ノ差等ヲ設ケテ居ル次第デアリマス、更ニ勤勞所得ニ於キマシテハ、從來原始産業所得等トハ異ナリマシテ、或ハ二割、或ハ一割ノ控除ヲシタ上デ課稅シテ來タ、斯ウ云フ點モアリマスノデ、此ノ度ハ更ニ稅率ニ於テ差等ヲ設ケマシテ、是ハ百分ノ六ト致シマシテ、水産業等ノ原始産業所得ニ對比シテモ、更ニ百分ノ一・五ダケ稅率ヲ輕クシテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、大體負擔力ノ相違ガアルト云フコトハ、從來ノ收益稅制度ヲ補充シテ居ル場合ト此ノ度ノ改正案ニ於テモ同ジ見方ヲシテ居ルト存ジマス、唯其ノ程度ガドウ位ノ差ガアツテ然ルベキカト云フコトニ付キマシテハ、或ハ多少御意見ガアルコトカト思ヒマスケレドモ、決シテ兩者ヲ同一ニ扱ツテ居ルト云フ譯デアリマセス

○西川委員 ソレデ事務的ナ御説明ハ分リマシタ、其ノ上ノコトハ政策ニ關スルコトデアリマスカラ、大臣ノ御出席ヲ待ツテ御伺致シマス

砂鑛業等ノ原始産業ニ對スル所得ヲ、特ニ甲種トサレタ理由ハ如何デアリマス、ソレニ對シテ御説明願ヒマス

○大矢政府委員 是等ハ從來他ノ原始産業トハ異リマシテ、營業的分子ガ相當アルノデアリマシテ、鑛產稅ヲ課稅シテ居ツタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ度ハ鑛產稅ヲ廢止致シマシテ、普通ノ營業ト同様ニ扱ハレタ結果ト致シマシテ、此ノ鑛業、砂鑛業ハ甲種ノ方ニ取入レタ譯デアリマス

○西川委員 現在ノ制度ニ於キマシテハ、例ヘバ日本發送電會社ノ如ク、國稅ノミノ免除ヲ致シマシテ、地方稅ニ於キマシテハ國稅ヲ免除セザルモノトシテ、課稅シテ居ル國策會社ガアルト思ヒマス、日本發送電ノ如キハ法律ニ於テサウナツテ居ル、所ガ營業收益稅ハ還付稅ニナツテ營業稅ナルノデアリマスガ、所得稅ノ地方附加稅ハナクナル、從來ハ國稅トシテノ所得稅ハ、是等ノ會社ハ免除サレテ居ツタケレドモ、地方附加稅ハ課稅スルコトガ出來テ居リマス、所ガ所得稅ノ地方附加稅ガナクナルノデアリマスカラ、立法當時ニ考ヘマシタコトヨリモ、課稅ノ上ニ於テ是等ノ會社ハ不當ニ優遇サレルコトニナツテ居ル、立法當時ニ於キマシテ地方稅ヲ課スベシトシタノニハ、課スベキ根據ガアツタニ違ヒナイ、其ノ根據ト、今回所得稅ニ對スル地方附加稅ヲ廢止シマシタコトニ依ツテ、是等ガ立法當時ノ觀念ヨリハ特別ニ優遇ヲ受ケル結果ニナルコトニ付テ、主稅局當局ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ

○大矢政府委員 日本發送電會社ニ對シテハ所得稅、營業收益稅ヲ課稅シテ居リマス、恐ラク今御尋ノハ日本製鐵ノヤウナ製鐵事

業法ノ適用ヲ受ケル會社ニ付テノコトカト存シマス、是等ハ國稅ガ免除ニナツテ居ル場合ニハ、地方稅ハ課稅スルコトガ出來ナイコトガ建前ニナツテ居リマスガ、地方團體ガ特別ノ事由ニ依ツテ、ドウシテモサウ云フ方面ニ課稅シナケレバナラヌト云フ場合ニハ、其ノ事情ヲ具シテ內務、大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ、或ル程度ノ課稅ハ爲シ得ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是モ實際ノ實例トシテハ一二其ノ例ガアルダケデ、殆ド課稅シテ居ナイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○西川委員 私ハ日本發送電會社法ノ中ニ、サウ云フ條文ガアルト思ツテ居リマスガ、ソレデハ條文ヲ持ツテ來テ伺ヒマス

○大矢政府委員 ソレハ昨午政府ノ提案ノ中ニアリマシタケレドモ、議會ノ修正デ削除致シマシテ、免稅ニナツテ居リマセヌ

○西川委員 從來國稅、營業收益稅ヲ課稅シナカッタ或ル程度以下ノ營業收益ニ對シマシテハ、地方ニ於テ營業稅ヲ課シテ居ッタノデアリマスガ、今回ハ地方稅トシテノ營業稅ハ廢止サレタノデアリマス、ソレト大體ニ於テ拮抗スベキモノト見テ居リマス、地租ノ點ハ地租ノ免除地ニ對シマシテモ、附加稅ダケハ課スコトヲ得ルヤウニナツテ居リマスガ、是ハ從來ノ仰セノ建前ト均衡ガ違ツテ來ルコトニナリマス、是ハドウ云フ見解デアリマスカ

○狹間政府委員 只今ノ御尋ハ小營業者ト小自作農者ノ課稅ノ比較ノ問題ノ御尋デアアルカト存シマス、今回地方營業稅ヲ廢止致シマシテ、純益四百圓未滿ノ營業ニ對シテハ、課稅ヲ致サナイコトニナリマシタガ、自作農ニ付キマシテハ賃賃價格二百圓

未滿ノモノニ付キマシテ、從來ノ特別地稅ト同ジヤウナ意味ニ於テ、地租附加稅ノ形デ課稅ヲ致シマス、是ハ小營業者ニ對スル免稅ヲ致シマシタ趣旨ハ、大體之ヲ農業ニ付テ考ヘマスレバ、小作人ト同様ノモノデアルト云フ風ニ考ヘテ、免稅スル方ガ課稅ノ均衡ヲ得テ居ルモノデアルト云フ考ヘヲ以チマシテ、全部免稅スルコトニ致シタノデアリマス

○西川委員 ソレカラ酒造稅ノコトニ付テ一寸御伺致シマス、食糧政策ノ建前、節米ノ建前カラ造石高ヲ非常ニ減少サレマシタ、併シナガラ時局柄酒ニ對スル需要ハ當然増加スルト思フノデアリマス、サウナリマス、勢ヒ合成酒ニ其ノ需要ガ集中シテ來ル、合成酒ニ對スル需要ハ相當増加シテ來ル、又合成酒ヲ相當ニ供給シナカッタナラバ、酒ノ密造等ヲ増加スルヤウナ結果トナリマシテ、却テ節米上カラモ逆效果ヲ來スト云フヤウナコトガナイトハ限ラナイノデアリマス、其ノ點ニ於キマシテ、合成酒ノ問題ニ對シマシテハ、特別ニ今回ノ酒造稅ノ上ニ於キマシテ、考慮サレル必要ガアルノデハナイカト思フ、私ハ此ノ合成酒ナルモノハ、保健上其ノ他ノ點モ或ハ考慮スベキ點ガアルカトモ存ジマスガ、大體ニ於テドウ考ヘテ居ラレルカ、今回ノ此ノ酒造ノ減石ト合成酒ノ問題ニ付テハ、ドウ云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレルカニ付テ、一寸御見解ヲ御聽キシタイノデアリマス

○大矢政府委員 清酒ハ原料トシテ米ヲ使ツテ居リマスガ、米ノ生産ハ内外地ヲ通ジテ、昨年相當減收ニナリマシタ結果ト致シマシテ、清酒ノ原料ニ使フ米ヲ非常ニ節

減シナケレバナラヌト云フ風ニナツタノハ、正ニ仰セノ通りデアリマス、而シテ一方ニ於テ清酒ニ對スル需要ハ相當多イノデアリマシテ、之ヲ自然ニ放置シテ置キマスレバ、寧ロ前年ヨリモ増加ノ趨勢ニアルカト存ズルノデアリマス、勿論不急消費ノ方面ニ對シマシテハ、相當ニ抑制ヲ圖ラナケレバナリマセヌケレドモ、或ハ勞働者ガ一日ノ勞ヲ忘レルト云フヤウニ、一般大衆ノ消費スル方面ニ對シテハ、出來ルダケノ供給ハ努メナケレバナラヌト思ツテ居リマス、サウ致シマス、此ノ酒精分ヲ含シタ飲料ヲ何デ供給シ得ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、ヤハリ今御話ノアリマシタ合成酒ノ如キモノヲ、出來ルダケ多量ニ供給スルト云フコトハ、此ノ際トシテモ非常ニ必要ナコトト存シマス、併シガナラモ原料ハ主トシテ甘藷、馬鈴薯等ニ俟タナケレバナリマセヌガ、是モ國內ノ生産ハ餘リ豐富デハナイノデアリマシテ、現狀ニ於キマスルト、是カラ相當多量ノモノヲ、此ノ酒精分ヲ含シタ飲料ノ方ニ廻シ得ル餘地ハ少イノデアリマスケレドモ、併シナガラ出來ルダケ其ノ方面ニモ工夫致シマシテ、合成酒ノ原料トナルベキ酒精、或ハ燒酎ノ供給ヲ豐富ニシタイト存ジテ居リマス、目下具體的ノ案ニ付テ考究ヲ進メテ居ル次第デアリマスガ、此ノ度ノ稅制改正ニ於キマシテモ、十分此ノ點ハ考究致シマシテ、稅率ノ點ニ於キマシテ、清酒ト合成酒ト負擔ノ均衡ヲ得ルコトヲ圖ルト共ニ、出來上ツタ合成酒ニ付キマシテハ、課稅濟ノモノハ從來ハ清酒トノ混和ヲ認メマセヌデシタケレドモ、稅務署ノ認可ヲ得レバ混和ヲ認メル、ソレカラ從來ノ清酒製造家等ニ於キマシテ、

斯ウ云フ方面ニ轉換シタイト云フ希望者ガアル場合ニ於キマシテハ、能ク實情ヲ調査致シマシテ、差支ナイ限りハ出來ルダケサウ云フ方面ニ導イテ行キタイ、斯ウ存ジテ居リマシテ、其ノ途モ開イテ居ル次第ゴザイマス

○西川委員 御說明ハ諒承致シマシタガ、只今稅率ノ上ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ツタト、斯ウ仰セラレテ居リマス、然ルニ此ノ合成酒ハ價格モ安いノデアリマス、隨テ一般ノ消費スルコトニナルト存シマス、隨テ同率ノ課稅ヲ爲サレマシテモ、其ノ價格ニ對シマスル割合ハ非常ニ合成酒ノ方ガ高クナリ、石當リノ稅率ハ同一デアリマシテモ、其ノ價格ニ對シマスル割合、負擔力ニ對シマスル割合ハ、非常ニ高クナルノデアリマスカラ、同一率ノ課稅ヲ爲サレタノデハ負擔ノ均衡ニハナリマセヌ、合成酒ノ方ガ遙ニ安クナイト、負擔ノ均衡ニハナラナイノデアリマスケレドモ、此ノ稅率ニ依リマス、負擔ノ均衡ヲ圖ツタト局長ハ言ハレマスガ、合成酒ノ方ガ高クナツテ居ル、同一ノ稅率デモ負擔ノ均衡ニハナリマセヌ、然ルニ一石ニ對スル課稅ニ於テ、合成酒ノ方ガ高クナツテ居ルト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、只今ノ御說明ト全然矛盾スルト思フ

○大矢政府委員 合成酒ハ御承知ノ通り最近ノ發達ニ依ルモノデアリマスガ、相當大規模ノ資本ヲ投ジテ、而モ年中造リ得ルト云フヤウナ點ニ於キマシテ、清酒ノ製造ト自ラ事情ガ異ナル點ガアルノデアリマシテ、品質モ漸次改善セラレマシテ、最近ニ於キマシテハ相當良イモノモ出來テ來テ居

リマス、價格ノ點ニ於キマシテモ、大體中等ノ清酒位ノ値段ハシテ居ルカト存ジマス、昭和十二年ノ臨時租稅増徴法ニ於キマシテ、清酒ト合成酒ト、此ノ從來ノ負擔ニ幾分不均衡ナ點ガアルト云フノデ、多少合成酒ノ方ノ稅率ヲ高メタノデアリマスガ、支那事變特別稅法ニ於キマシテ、其ノ創設ノ場合ニ於キマシテモ、亦其ノ改正ノ場合ニ於キマシテモ、多少合成酒ノ稅率ヲ高メテ居リマシテ、清酒一石ニ付テ五圓増徴スル場合ニ於テ、合成酒ハ七圓増徴スル、此ノ増徴ヲ二回致シテ居リマシテ、現在ニ於キマシテモ基本ノ造石稅ニ於テ相違ガアルバカリデナク、物品稅ニ於キマシテモ一石ニ付テ四圓ノ開キガアル、斯ウ云フ風ニナツテ、現行法ノ下ニ於テモ相當合成酒ノ方ガ高クナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ度ノ改正ニ於キマシテモ、清酒ト合成酒ハ一石當リノ稅率ハ違ツテ居リマス、特ニ此ノ度高クシタト云フ譯デハアリマセス、大體現行法ヲ其ノ儘移シタ程度ト御承知願ツテ宜カラウト存ジテ居リマス

○西川委員 先ニ稅率ノ負擔ノ均衡ヲ圖ツタト云ハレ、又今ハ現行法ヲ其ノ儘移シタト云ハレノデアリマス、又合成酒ハ相當大規模ノ工業ノ生産デアリカラ、相當負擔力ガアルト云フ風ニ御説明ニナツタヤウニモ解セラレノデアリマス、然ルニ酒稅ハ消費稅デアル、是ハ消費者ニ轉嫁サレハ、生産者ノ負擔力ニ依ツテ稅率ヲ設クベキモノデハナイト思フ、徵稅上ノ考慮等ニ於キマシテハ、ソレハ生産者ノ直接稅金ヲ拂ヒマスルモノ、課稅力ニ付テ御考慮ガアルニ致シマシテモ、此ノ稅金ト云フモノハ消費者ニ轉嫁サレ、隨テ清酒ヲ需要ス

ル者ノ負擔力ト、合成酒ヲ需要スル者ノ負擔力トニ付テ、御考慮ヲ拂ハナクテハナラヌコトデアル、然ルニ清酒ヲ需要スル者ノ方ガ負擔力ガ少クテ、合成酒ノ方ガ負擔力ガ大キイト云フコトハ、私ハアリ得ナイト思フ、從來サウ云フ差別ガアリマシタノハ、從來ノ政策ガ誤リデアル、先ニ私ガ伺ヒマシタ時ニハ、水産業トカ、或ハ自由職業者等ニ於キマシテモ、從來課稅ノ上ニ於テ比較的優遇サレテ居ツタモノハ、今回モ其ノ點多少ハ考慮サレテ居ルコトハ先ノ說明デ承リマシタガ、其ノ負擔力ニ沿ウテ、一ツノ改正ヲ試ミラレバ此ノ際、間違ツタコトハ改メルコトガ宜イト思フ、只今局長ノ御説明ノ建前カラ行キマス、私ガ申シマスヤウニ、此ノ消費者ノ負擔力ト云フ上カラ申シマス、其ノ價格ニ對スル一定ノ割合ガ、消費者ノ負擔ニナルデアリマスルカラ、一石ニ對スル所ノ稅額ハ、合成酒ノ方ガ安クナイト均衡ガ取レナイ、然ルニ清酒一石ニ付テ造石稅ガ四十五圓、合成酒ハ四十八圓、三圓ノ開キガアルノデアリマス、確ニ是ハ不合理ナコトデアリマス、此ノ不合理ニ對シマシテ是正ヲサレル御意思ハナイカ

○大矢政府委員 此ノ清酒、合成酒ニ對スル課稅ハ、消費稅デアリカラ消費者ノ負擔力ヲ見テ課稅シナケレバナラナイト云フコトハ、洵ニ仰セノ通りデアリマス、ソレハモウ私何等異存ハアリマセス、洵ニ其ノ通りニ考ヘテ居リマス、先程申上ゲマシタノハ、合成酒ハ大資本ヲ以テ、而モ年中造リ得ル、品質モ大體改善サレテ來テ居ル、サウ云フヤウナ最近ノ情勢ヲ申上ゲタケデゴザイマシテ、日本酒ハモウ大體造石高ト致シマシテモ、難附近ニ於キマシテモ千石

位ノモノガ普通ノ規模トサレテ居リマス、ソレカラ進歩發達ノ殆ド頂點ニ達シマシテ、モウ製造ノ餘地ガナイ、然ルニ合成酒ハ大資本デ、而モ最近ノ發達ニ係ツテ、今後モ段々製造技術ガ進歩シテ良クナリツアツルト云フコトダケヲ申上ゲタノデアリマシテ、是ガ爲ニ餘計負擔サセテモ宜イト云フコトハ、別ニ申上ゲテ居ラス積リデアリマスカラ、ドウゾ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ、今度ハ稅率ノ點ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ツタト云ヒナガラ、今ノ說明ヲ聽クト、從來ノモノヲ其ノ儘移シタト云フ話デ、ソレデハ何等負擔ノ均衡ヲ、特ニ圖ツタノデハナイデハナイカト云フコトハ御尤モダト存ジマス、斯ウ云フ譯デアリマス、從來此ノ清酒モ合成酒モ酒精分二十三度ヲ限界ト致シマシテ、二十三度以下ノ場合ニ是タト云フ風ニシテ、稅率ヲ盛ツテ居リマス、併シナガラ日本酒ハ其ノ釀造ノ技術カラ致シマシテ、實ハ二十三度マデ酒精分ガアルト云フノデハナイノデス、普通十七八度、多クトモ十九度ト云フ所デゴザイマシテ、平均先ヅ十八度内外ト申シテ宜カラウト思ヒマス、然ルニ合成酒ハ人工的ニ出來ルモノデアリマスカラ、二十三度ギリマデ造リ得ルノデアリマス、査定ヲ受ケル場合ニハ、合成酒ハ二十三度ヲ以テ査定ヲ受ケテ、サウシテ査定ヲ受ケタ後ニ割水ヲ澤山致シテ市場ニ出ス、斯ウ云フ狀況デアリマス、デ市中ノ相場等モ此ノ割水ノ多ク入ツタ所デ、値段ガ大體出テ居ルノデハナカラウカト存ジテ居リマス、勿論清酒ニ付キマシテモ或程度ノ割水ガアリマスケレドモ、合成酒トノ間ニハ相當ノ開キガアル

ノデアリマシテ、現在ハ酒精分二十三度ヲ限界點ト致シテ居リマス、是ハ實際ノ事情ニ即シマセヌカラ、酒精分ノ限界ヲ二十度ニ引下ゲタノデアリマス、サウシテ二十度ニ引下ゲマシタガ、清酒ノ方ハ平均二十度ニハ參リマセヌ、十八度内外ニナツテ居リマス、合成酒ハ二十度デ査定ヲ受ケルコトニナリマシタ、隨ヒマシテ同ジ一石ト致シマシテモ、酒精分ハ合成酒ノ方ガ多い、割水モ效ク、斯ウ云フ關係デアリマシテ、ソコニ多少稅率ノ差等ヲ設ケテモ宜イ、併シナガラ合成酒ハマダ全ク清酒ト同ジヤウナ品質ニマデ行カナイカラ、酒精分二度ノ差ヲ其ノ儘稅率ニ現ハスノハ、稍、合成酒ニ對シテ無理ガアルノデハナイカト思ヒマシテ、其ノ點ヲ考慮致シマシテ、幾分此ノ二度ノ開キト云フモノニ對シテ、稅率ノ開キヲ少クシテ、兩者ノ均衡ヲ圖ツタト云フ譯デアリマシテ、私ガ負擔ノ均衡ヲ圖ツタト云フノハ、サウ云フ細カイ考慮ヲシテ居ルコトヲ頭ニ置イデ申上ゲタノデアリマス、前ノ說明ノ場合ニハ、ソレヲ省略致シテ居リマシタカラ、如何ニモ其ノ儘今度ノ稅法ニ持ツテ來テ、サウシテ負擔ノ均衡ヲ圖ツタト云フノハドウカト云フ御不審ガ起ツタノハ無理カラスト思ヒマスノデ、一寸補足シテ置キマス

○西川委員 只今割水ノコトヲ仰シヤイマシタガ、清酒ニモヤハリ割水ハ出來ルヤウナ建前ニ法律ノ上デモナツテ居リマス、中此ノ頃ハ清酒ノ割水モ非常ニ分量ガ多いヤウデアリマス、何ト申シマシテモ、是ハ勤勞階級、下層階級ガ主トシテ需要スルコトニナル、之ヲ飲ムヨリ外ニハ、モウトデモ清酒ナンカニハ手ガ届カナイ、清酒ノ値

上リハトテモ大シタモノダ、公定價格ハド
ウナリマスガ、實際ハ閣取引デアリマスガ、
非常ニ高クナツテ居リマス、ツコデ合成酒
ヲ需要スルヨリ外ニナイノデアリマスガ、
之ニ對シテ石當リノ合成酒ノ造石稅ガ高イ
ト云フコトハ、是ハ一石ニ付テ僅ニ三圓デ
アリマスガ、價格ノ割合カラ行キマスルト
非常ニ不均衡ニ率ガ高クナルト思ヒマス、
非常ニ勤勞階級、下層階級ノ需要スルモノ
ノ負擔力ニ對シテ割合ガ高クナル、是ハド
ウシテモ是正シナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、其ノ點ハ大體御説明ハ御説明トシテ諒
承致シマシタ、ソレト共ニ只今ノ御説明ニ
モアリマシタ通りニ、合成酒ハ主トシテ近
代的ナ大規模ナ工業製品デアツテ、從來ノ
清酒ノ製造トハ生産條件ガ著シク違ツテ居
ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ造石ノ
此ノ最低限度ノ如キモ今少シ引上ゲラレタ
方ガ宜イノデハナイカ、又酒造組合法等ニ
於キマシテ、組合ニ於ケル所ノ取扱モ是ハ
別個ノ取扱ヲサル方ガ合理的デハナイ
カ、更ニ滓引減量デアリマスガ、是モ清酒
トノ間ノ取扱ガ違フヤウニ聞イテ居ルノデ
アリマスガ、是等ハドウ云フ譯デサウナル
ノデアリマスガ、此ノ三點ニ付キマシテ御
答辯ヲ願ヒマス

テ居ルモノデアリマスカラシテ、斯ウ云フ
際ニ大規模ノ工場ヲ拵ヘマシテ、合成酒ヲ
ドン／＼造ルト云フコトニ致シマスルト、
全國七千有餘ノ中小清酒製造家ハ一掃リモ
ナク參ツテシマフノデアリマス、是ハ又全
國地域のニ見テモ相當清酒製造ト云フモノ
ハ重要ナ産業ニナツテ居リマスルシ、其ノ
關係者ノ數モ多イノデアリマスカラシテ、
是等ニ對シテ餘リ激シイ變動ガ起ツテ來ル
ノモドウカト考ヘルノデアリマシテ、先程
モ申上ゲマシタ通り、大體原料米ノ節減ニ
依ツテ清酒ノ製造ハ制限サレル、或ハ是ハ
獨リ本年バカリデナク、明年以降モ更ニ強
化サレルカモ知レナイ、サウ云フ場合ニ先
祖代々、何十年トナク營業シテ居ル者ニ對
シマシテ、餘リ急激ナ變動ヲ與ヘズ、相當
「スムーズ」ニ轉換シ得ル途ヲ講ジタイト考
ヘマシテ、出來ルダケ、新規ノ大資本家ガ
此ノ間ニ介入シテ來テ業界ニ不測ノ變動ヲ
齎ラサナイヤウニ考慮スルノガ至當デナイ
カト考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ組合ニ於ケル取扱ニ付テハ全ク
御同感ノ節モアリマスカラ、是ハ尙ホ當業
者トモ能ク意見ヲ交換致シマシテ適當ニ考
ヘテ行キタイト存ジテ居リマス、滓引減量
ノコトデゴザイマスルガ、御承知ノ通り清
酒ハ製造ノ時期ト云フモノガアリマス、各
季ニ製造致シマシテ、春カラ秋マデニ順次
ソレヲ出シテ行クト云フ風ニ致シマシテ、
長イ間貯藏シテ居ルモノデアリマスルガ、
合成清酒ノ方ハ造ツテ直グ右カラ左ニ市場
ニ出スト云フノデ貯藏ノ期間モアリマセヌ、
隨テ滓引減量、貯藏減量ト云フヤウナ問題
ガ起ツテ來マセヌカラ、合成清酒ノ方ハ認
メナイ次第デアリマス

○西川委員 近來「マツチ」ノ缺乏ハ實ニ極端
ナモノガアリマシテ、吾々ハ窮餘ノ策トシ
テ燧石ヲ時々使フヤウニナツテ居ルノデア
リマスガ、此ノ「マツチ」ノ缺乏ニ對シマシテ
當局ニ於テハ助成金ヲ交付シテ「マツチ」ノ
生産ヲ圖ラシメルト云フヤウナコトモ新聞
等デ見テ居ルノデアリマス、ソレハ「マツチ」
ガ日用必需品デアルガ故ニ「マツチ」ノ價格
ノ騰貴ヲ抑ヘテ、而モ生産ハサセナクテハ
ナラヌト云フ考慮ノ上ニ出デラレタモノト
思フノデアリマス、然ルニ其ノ「マツチ」ニ
對シマシテ——生活必需品デアリ、又現在
價格ヲ上ゲテハ國民生活ニ影響スルシ、上
ガナケレバ生産ガ十分出來ナイト云フ狀態
ニアリマス、此ノ「マツチ」ニ對シマシテ新
ニ物品稅ヲ課セラレル理由ハ何處ニアルノ
デアリマスカ

○大矢政府委員 「マツチ」ニ對シテハ新ニ
物品稅ヲ課シタ譯デハアリマセヌ、昭和十
三年「マツチ」ノ物品稅ヲ創設シタモノデア
リマシテ、昨年モ今回モ増徴シテ居リマセ
ヌ

○西川委員 兎ニ角成ベク日常必需品ヲ下
ゲルト云フ建前ニ於テハ「マツチ」ニ對ス
ル稅ハ今年新シク立テタモノデハナイデセ
ウガ、アルニハアル、一方補助金マデ交付
シテ増産シナクテハナラヌモノニ對シテ、
一方ニ物品稅ヲ課ケルト云フコトハ大ナル
矛盾ダト思フ、單ニ從來カラアル故ニ其ノ
儘置イタト云フノデハ、私ノ質問ニ對スル
御答辯ニハナラヌト思ヒマスガ、是ハドウ
云フ事情デアリマスカ

○大矢政府委員 「マツチ」ニ對スル物品稅
ヲ課稅シタ場合ハ現在ト狀況ガ大分違ツテ
居タノデアリマシテ、「マツチ」ハ國內ニ比

較的豐富ニ供給セラレマシテ、一寸買物ニ
行ツテモ歸リニ其ノ邊デ二ツ三ツ持ツテ歸
レル、國民一般モ非常ニ「マツチ」ニ對スル
考ガ「ルーズ」デアツタ、然ルニ斯ウ云フ風
ナ習慣ヲ付ケテ置イテハ將來ニ於テ困ル事
態ガ起ルノデハナカラウカ、如何ニ木ガ豐
富デアリ、「マツチ」ガ豐富デアルト言ウデモ、
世界中日本ノヤウニ「マツチ」ヲ粗末ニシテ
居ル所ハナイカラ、少シ國民ニ緊張サセヨ
ウト云フヤウナ考モアリマシテ「マツチ」ノ
物品稅ヲ起シタ次第デアリマス、然ルニ施
行後二年ナラズシテ今日ノヤウナ狀況ニナ
ツテ來タノデアリマシテ、只今ノ狀況カラ
御覽ニナレバ全ク御説ノヤウナ考ヘ方モア
ルト思ヒマス、併シ最近ノ事態ハ洵ニ變則
的ナ一時的現象カトモ存ジマスカラシテ、
此ノ窮迫シタ時期ニ對シマシテハ一應臨機
ノ措置ヲ執ツテ、將來ノ恆久對策ハ別個ニ
考ヘタラドウデアラウ、斯ウ云フ考カラ致
シマシテ「マツチ」ノ物品稅ハ据置ト致シタ
次第デアリマス

○西川委員 餘程當局ノ考ヘラレタ藥ガ效
キ過ギマシテ「マツチ」ヲ粗末ニシテ天罰觀
面ノ觀ガアリマスルガ、現在ノ狀況ニ於キ
マシテハ如何ニモ是ハ不合理デアリ、稅法
ニ斯ウ云フモノガ載ツテ居リマスルノハ、
吾々ト致シマシテモ甚ダ目障リデアリマス、
是ハ適當ニ御考慮ニナル必要ガアル、吾々
トシテモ考慮シナクテハナラヌト思ヒマス、
ソレカラ化粧石鹼ニ對シマシテハドウ云フ
定義ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカ

○田中政府委員 御説明申上ゲマス、化粧
石鹼ハ大體洗濯石鹼トカ、其ノ他ノ工業用
石鹼ヲ除キマシタアトノモノヲ以テ化粧石
鹼ト致ス積リデゴザイマス、實際ノ適用ニ

當リマシテハ、例へば包裝狀態トカ、或ハ
容器トカ、サウ云ツタヤウナモノノ取引上
完全ニ區別ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス
○西川委員 ソレカラ命令案ノ中、第一ノ
一ノ所得稅ヲ課セザル公共團體ノ中ニ帝國
水產會ガ漏レテ居ルヤウデアリマスガ、是
ハ脫漏デアリマセウカ

○大矢政府委員 茲ニ所得稅ヲ課セザル公
共團體ノ名ヲ澤山列舉シテ居リマスガ、マ
ダ列舉シ切レナイモノガアルノデアリマス、
又此ノ勅令ヲ出シタ後ニ於キマシテモ相當
新シク出テ來ル、其ノ都度々々勅令ヲ改正
シテ行クノモドウカト思ヒマシテ「等」ト云
フノヲ最後ニ付ケ、現行法ニ於キマシテ
モ其ノ他是等ニ準ズルモノト致シテ居ルノ
デアリマシテ、列舉以外ノモノハ全然免稅
ハシナイト云フ趣旨デハゴザイマセス

○西川委員 帝國水產會ハ水產ニ關スル公
共團體トシマシテハ最も有力ナ大キナ存在
デアリマス、其ノ一番權威アル大キイ帝國水產
會「等」ノ中ニ入ラレマスルガ如キハ、當
局ノ水產ニ對スル認識ノ程モ疑ハレマシテ、
甚ダ吾々遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、ソ
レデ安心ヲ致シマシタ、併シナガラソレヲ
脫漏サレマシタ爲ニ、帝國水產會系統ノ地
方ノ方面デハ非常ニ周章狼狽致シマシテ電
報ヲ打ツテ來マシタリ、色々手數ヲ掛ケテ
居ルノデアリマス、ドウカ今後ニ於キマシ
テハ斯ウ云フ有力ナ權威アル團體ヲ脫漏サ
レルヤウナコトノナイヤウニ、斯様ナモノ
ハ「等」ノ中ヘ入レズニ御取扱ニナルヤウ希
望致シテ置キマス

○大矢政府委員 實ハ現行法ニ於テモ申上
ガタカト存ジマスガ、帝國水產會ハ入ツテ
居リマセヌガ、扱ヒト致シマシテ其ノ公共
團體ニ準ズベキモノノ中ニ明記致シマシテ、
各監督局ニモ通知ヲ致シテ居リマス、斯ウ云
フ次第デ、此ノ勅令ノ中ニ漏レテハ居リマス
ルガ、入レルカドウカ尙ホ考ヘテ見マス
○森委員 一寸關聯シテ伺ヒタイと思ヒマ
ス
○堀切委員長 宜シウゴザイマス
○森委員 只今ノ水產會ノ問題デスガ、獨
リ帝國水產會バカリデナク、其ノ先ノ方ヲ
見ルト、農會ハ唯單ニ農會ト書イテアルダ
ケデスガ、帝國水產會系統ノモノハ各府縣
ニ他ニモアル譯デアリマス、ソレハヤハリ
水產會トシテ御出シニナルコトヲ私ハ希望
致シマス
○大矢政府委員 マダ其ノ他ニモ相當澤山
アルヤウデゴザイマスカラ、一ツ考ヘテ見
マス

○西川委員 以上事務當局ニ對スル質問ハ
大體是デ打切りマシテ、內務大臣ニ御同致
シマス、我黨ニ於キマシテハ多年地租營業
收益稅ノ地方委譲ヲ主張シテ來タノデアリ
マス、今回ノ稅制改革ニ於キマシテ、國稅
ハ地租ノ外ニ新ニ營業稅ヲ起サレマシテ、
又家屋稅ヲ國稅トサレマシテ、之ヲ還付稅
トシテ實質上ニ於テ地方財源ニ委譲サレマ
シタコトハ、我黨多年ノ主張ニ合致スル點
ガアリマスルノデ、吾々ハ我意ヲ得タ感ジ
ガスルノデアリマス、然ルニ我黨ガ之ヲ提
唱致シマシタノハ、所謂財政上ニ於ケル中
央集權ノ弊ヲ矯正致シマシテ、地方ニ確實
ナル財源ヲ賦與スルト云フコトガ吾々ノ目
的デアツタノデアリマスルガ、今回ノ改正ニ
於キマシテ、實質上地方ノ財源ニ委譲サレ
ルニモ拘ラズ、形式上之ヲ國稅ニ存置サレ
タ、而モ是ガ各地方ノ財政ノ狀況ニ於テ調

整的ニ分配サレルノナラバ、左様ナ形式ヲ
取ラレル必要モアルト存ジマスケレドモ、
之ヲ完全ニ原地ニ還付サレマスルノナラ
バ、何等國稅ニ存置サレル理由ハ認めナイ、
之ニ對スル事務當局ノ説明ハ屢、聽キマシ
テ了承致シマシタ、併シナガラ吾々サウ云
フ事務的ナ考モ持ツテ居ツテ、而モ尙ホ地
方ニ委譲スベキコトヲ主張致シテ居ルノデ
アリマス、之ニ對シマシテハ內務大臣カラ
政治的ニ、而モ尙ホ國稅ニ存置セザルベカ
ラザル理由ヲ、事務的デナク、政治的ニ、
政策的ナ立場カラ御説明願ヒタイノデアリ
マス
○兒玉國務大臣 只今御話ニナリマシタ結
果ハ、蓋シ同ジコトニナリマスルシ、更ニ
效果的デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
斯ク致シマシタル所以ノモノハ、此ノ三稅
ヲ地方ノ獨立財源ト致シマス時ニハ、地方
的ニ課稅ノ標準ガ區々ニ互リマスル結果、
負擔ノ公正ヲ期スルコトガ難カシイノデア
リマス、此ノ點ニ於キマシテハ、現行家屋
稅ノ負擔ニ依リマシテ明ニナルノデアリマ
スルガ、他ノ稅ニ於テモ同様ナ關係ヲ生ジ
テ來ルト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ若シ
モ三稅ヲ地方稅ト致シマスル時ニハ、今回
行ハレマスル所ノ分與稅ノ基準ニ用ヒル三
稅デアリマスルカラ、此ノ不均衡ガアリマ
シタ時分ニ於テハ、分與稅ヲ分與スル適正
ナル標準ガ得ニクイト云フヤウナ結論ニモ
相成ルノデアリマス、尙ホ三稅ニ付キマシ
テ、國ニ之ヲ置キマスルト、例へば特殊ノ
場合ニ於キマシテ、免稅其ノ他色々社會
的政策ヲ實行シ、又經濟的措置ヲ講ズルニ
於テ、國ト致シマシテ便宜ヲ感ズル點ガ多
イ、斯ウモ思ツテ居リマス、又此ノ三稅ヲ

全クノ獨立稅ト致シマシテ地方ニ移シマス
ヨリモ、一部國稅ノ形トシテ存在ヲサセテ行
クト云フ事柄ハ、納稅者ニ與フル感ジノ上
ニ於テ、更ニ一層莊嚴味ヲ帶ビサセルト云
フ、感情上ノ問題モ之ニ加ハリ得ルノデハ
ナイカト思ツテ居リマス、殊ニ三稅ノ中地
租ノ委譲ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ西川
君御承知ノ通りニ、色々從來ノ沿革モアリ
マスシ、議論モアリマスシ、旁、國稅トシテ
之ヲ地方ニ還元スルト云フコトノ方ガ有效
的デモアリ、又論理的デモアル、斯ウ考ヘ
テ居リマスルノデ、今回此ノヤウナ措置ヲ執
リマシタノデアリマス
○西川委員 只今ノ御答辯ハ從來事務當局
カラ事務的ナ答辯トシテ繰返サレタモノカ
ラ一步モ出ラレテ居ナイ、大臣御自身ノ御
意見ト云フモノヲ伺フコトガ出來ナイノデ
アリマス、地方ニ於テ課稅シマス關係上、
色々ソコニ不均衡ヲ來スト云フヤウナコト
ハ、財政ノ監督上ノ立場カラ致シマシテ、
十分ニ是正スベキモノハ是正サルベキ筈デ
アリ、又地方ノ實情ニ應ジマシテ、サウ云
フ不均衡ガ起ルノガ自然ト云フ形ニモナル
ト思フノデアリマス、私共ハ只今ノ御答辯
デハ満足致スコトハ出來ナイノデアリマス
ガ、此ノ上追究シマシタ所デ、從來事務當
局カラ色々繰返サレマシタコトヲ御繰返シ
ニナルノデハ、徒ニ時間ヲ空費スルコトニ
ナリマスカラ、別ニ大臣獨自ノ御見解ガア
ルナラバ伺ヒマスガ、事務當局ノ御答辯ヲ
繰返スノデアツタナラバ、別ニ御答辯ハ要
求致シマセス

次ニ御尋致シタイノハ、大體今回ノ稅制
ノ建前ハ、國稅ハ人稅ヲ中心トシ、地方稅
ハ物稅本位ノ體系ヲ以テ立テラレテ居ル、

斯ウ云フ風ニ御説明ニナツテ居ル、國稅ハ人稅ヲ中心トシ、地方稅ハ物稅體系ヲ以テ立テラレマシタコトニ對シマシテ、其ノ理論の根據ヲ伺ヒタイ、ドウ云フ譯デサウ云フ建前ニシナケレバナラヌカ、ドウ云フ理由デサウ云フ建前ニサレタノデアルカ、其ノ根據ヲ伺ヒタイ

○兒玉國務大臣 只今ノ御質問ノ根本ノ趣旨ハ、詰リ國稅ト地方稅トノ體系ヲ正シクスルト云フコトガ、一ツノ大ナル原因ニナツテ居ルノデアリマスガ、一體地方稅ト致シマシテハ、年度間ニ於キマスル收入ノ安定性、普遍性竝ニ伸張性ガアルコトヲ必要ト致シマシテ、此ノ性質ニ適應スベキモノハ即チ物稅ナリト云フ大體ノ意見ニ依リマシテ、之ヲ採用致シタノデアリマス、而シテ地方稅ヲ物稅ト致シマシタル他ノ原因ハ、地方團體ノ施設ト、地方團體ニアリマスル土地家屋、所謂物件トノ間ニハ、非常ニ深い關係ガアリマシテ、此ノ地方團體ノ施設ノ良否ハ當該物件ニ直接ノ影響ガアリマスノデ、地方稅トシテハ收益的ノ財源ヲ主トシテヤル方ガ其ノ性質上適當ナリト云フ點ニ鑑ミタル點モアルノデアリマス、併シナガラ最モ其ノ重キ理由ト致シマシテハ、大體國稅、地方稅ノ基礎ヲ鞏固ニシ、其ノ體系ヲ正スト云フ點ニ重キヲ置イタモノト御承知ヲ願ヒタイと思ヒマス

○西川委員 只今御説明ニナリマシタ地方稅ノ必要ナル要件ハ、國稅ニ於テモ亦必要デアリマス、又地方稅ニ於ケル物件ト地方費トノ關聯性ハ、國ニ於テモヤハリ同ジコトデアリマス、ソレハ一ツノ何等カノ原理ヲ前提トサレテ、斯ウ云フ體系ニサレタニ違ヒナイ、其ノ原理ハ實ハ租稅學ノ上ニ於

テ多年言ハレテ居ル所ノ一ツノ原則デアアル、而モソレハ可ナリ舊イ原則デアアル、而モ私ハ是ハ決シテ日本ニ適用スル原則デアルトハ思ツテ居ナイ、此ノ原則ノ根據ハ、地方團體ヲ目的トシテ見ル、所謂利益社會ト見ル一ツノ原則カラ發生シテ居ルト云フコトハ、是ハ否認スベカラザル事實デアリマス、然ルニ我國ニ於キマスル所ノ地方團體ヲ利益社會、目的社會デアルト云フ風ニ見ルノハ、甚シク當ラ失シテ居ルノデアリマス、地方團體ハ、特ニ市町村等ニ於テハ最モ緊密ナル共同社會デアリマス、此ノ共同社會ノ維持運轉ヲ致シマス市町村ノ財政ヲ調達スル財源ト致シマシテ、物稅本位ノ體系ヲ持ツテ行クト云フコトハ思想的ニ妥當デナイ、主トシテ外國ノ實情ノ上カラ立テラレタ古イ租稅學ノ一ツノ原則ニ因ハレテ、サウシテ日本ノ實情ヲ檢討セズ、其ノ原則ニ基イテ一ツノ體系ヲ整ヘラレヨウトスルコトハ、私ハ妥當デナイと思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、內務當局ニ於キマシテ十分ニ再檢討サレル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ地方稅ノ體系ヲ立テラレル上ニ則ラレタル原則ト、地方團體ノ社會學的性質ニ關スル見解ニ付キマシテ、內務大臣ノ御答辯ヲ御願シタイ

○兒玉國務大臣 地方ノ更生ガ所謂相互援助ノ基礎ニ基キ、我國ノ關係ガ家族制度ヲ基調トシテ居ルト云フ事柄ハ、是ハ論ヲ俟タナイノデアリマス、其ノ點ニ重キヲ置クコトハ無論ノ話デアリマスケレドモ、併シナガラ稅制ノ上カラ見マシテ、地方ノ經濟ノ發達ニ重キヲ置イテ、サウシテ地方自治體ノ振興ヲ圖ツテ行クト云フ事柄ハ、是亦考ヘザルヲ得ナイ點デアリマス、ソコデ只

今御話ニナリマシタヤウニ、學說ハ古イカモ知リマセヌケレドモ、併シ古イカラト言ツテ必ズシモ惡イノデハナイノデ、我國ノ自治制ノ根本趣意ト此ノ原則トヲ混同致シマシテ、一面ニ於テハ我國ノ特有ノ地方自治精神ヲ高メ、一面ニ於テハ地方ノ振興ヲ圖ルベク、鞏固ナル財源ヲ與ヘテ行ク、斯ウ云フ點ヲ調和シテ行クト云フ事柄ガ吾々ノ最モ執ルベキ適切ナル方針デアルト、斯ウ考ヘテ居リマス

○西川委員 我國現在ノ情勢カラ申シマスルト、地方團體ニ於ケル共同社會的性質ヲ向上スルコトハ、極メテ必要ナノデアリマス、其ノ場合ニ於テ行ハレマスル稅制改革ガ、ソレニ逆行スルガ如キコトヲ執ツテ行カレマス云フコトハ、是ハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、併シ其ノ點ニ付テ更ニ追究ハ致シマセス

次ニ御同致シタイコトハ內務大臣ノ御立場ト致シマシテ、現下ノ我國ノ社會情勢、社會風教ノ上ニ於キマシテ、極メテ憂慮スベキ點ハ、戰時下ニ於キマシテ「インフレーション」等ノ爲ニ、人心聊カ浮華輕佻ニ流レノ傾向ガアリ、特ニ遊興等ガ非常ニ盛ンデアル、享樂的ナ遊興ガ非常ニ盛ンデアリマス、證據ハ、十四年度ニ於キマシテ遊興飲食稅ノ豫算ハ、三千万圓豫定サレテ居ツタカト思フノデアリマスガ、一億萬圓モ上リサウデアアル、三倍ノ增收デモアルト云フ如キ傾向ハ、洵ニ是ハ憂慮スベキ傾向ガト思フ、斯ノ如キ傾向ヲ此ノ儘放任致シテ置キマシタナラバ、吾々ハ我國ノ前途洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノガアルト思フ、是ハ有ユル手段ヲ講ジテ之ヲ矯正致シマシテ、風教ヲ健全ニスル、人心ヲ緊張セシムルト云フ

コトガ、現下ノ時局ニ於テハ最モ重要ナルコトデアルト存ジマス、又其ノ重大ナル責任ヲ負ウテ居ラレルノハ、內務大臣デアルト私ハ思フノデアリマス、此ノ場合は等ノ社會風教思潮ノ傾向ニ對シマスル內務大臣ノ御考ヲ承リタイノデアリマス

○兒玉國務大臣 全然同感ト申スヨリ外ニハナイと思ヒマス

○西川委員 其ノ點ニ於テ御同感ニナリマシタコトハ、私ハ當然ダと思フ、然ルニ大臣ノ同感ト、現實ニ行ハレヨウトスル財政政策ガ矛盾シテ居ル、之ヲ私ハ看過スルコトハ出來ナイ、地方團體ノ財政ノ其ノ最モ多クノ部分ヲ占メマス交付稅、此ノ市町村ノ財政ヲ賄ヒマス財源ニ、遊興飲食稅ノ五〇%ヲ以テ充テヨウトサレテ居ル、大體今日ノ現下ノ情勢ニ於キマシテ、最モ警戒シナケレバナラス、矯正シナケレバナラス其ノ遊興飲食稅ニ、地方財政ヲ依存セシムル、而モ其ノ依存ノ程度ハ極メテ高イ、斯ノ如キ稅制ガ只今御同感ニナリマシタ大臣ノ御考ト矛盾シナイカ、是ハ確ニ斯様ナ財政ノ立テ方ト云フモノハ、社會人心ニ及ボス影響モ宜シクナイと思フノデアリマス、之ニ對シマシテハドウ云フ御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○兒玉國務大臣 遊興飲食稅、之ヲ配付稅ノ中ニ取込ミマシタノハ、必ズシモ絶對ニ宜イトハ申兼ネル點ガアラウト思フノデアリマス、只今ノ御議論ノ點モ其ノ一ツト考ヘテ居リマス、唯之ヲ取込ミマシタ所以ノモノハ、如何ニモ配布稅ノ中心ヲ國稅ノ中心デアアル所得稅、又ハ法人稅等ニミ求メルト云フ事柄ガ、其ノ國家財政ニ及ボス影響ト云フモノガ多イノデ、茲ニ已ムヲ得ズ遊興

飲食税ヲモ附帶ノモノトシテ、之ヲ採上ゲマシタノデ、斯ク如ク安定性ヲ缺イテ居リマス、例ヘバ只今御議論ノアルヤウナ問題ヲ、茲ニ採上ゲルト云フコトハ必ズシモ好マシイコトデアリマセヌガ、財政上已ムヲ得ザル處置ニ出デタルモノト、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 斯ノ如ク安定性ノナイ、又安定シテ呉レテハ困ルヌウ云フ歳入ガ年々歳歳安定シテ多額ニ上ツテハ困ル、サウ云フモノヲ以テ地方財政ノ有力ナル財源、而モ可ナリ程度ノ高イ所ノ財源ヲ、是等ニ持タシメルト云フコトハ如何ニモ是ハ不當デアリマス、遺憾デアルケレドモ、財政事情上致シ方ガナイト云フ御説明デアリマスルガ、財政事情上致シ方ノアル方法ヲ執ラレテハドウデアルカ、財政ノ上ニ於テ方法ガ執ラレヌコトハナイト私ハ思フ、此ノ點ハ將來ノ地方財政ノ安定ノ上カラ云ヒマシテモ、社會風教、思想ノ上カラ申シマシテモ、極メテ重大ナル點デアリマスカラ、此ノ點ニ對スル御答辯ヲ御願シタイ

○兒玉國務大臣 他ニ好イ税源ガアリマスレバ、御教ヘフ乞フニ吝ナラス者デアリマスケレドモ、差當リ只今國稅ノ中心デアアル所得稅、法人稅等ニ餘リ煩ヒヲ掛ケルト云フコトハ、國ノ稅ノ關係カラ考ヘテモ如何カト思ヒマスノデ、他ニ適當ナル財源ガアレバ別ト致シマシテ、差當リノ所ハ之ヲ採入レテ置クト云フコトガ適當ナリ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 吾々ハ他ニ適當ナル財源ヲ必ズシモ持タナイ譯デアリマセヌ、併シソレハ大藏大臣ガ出ラレタ時ニ、其ノ點ニ付テハ觸レルコトニ致シマス、今回ノ稅制改革

ニ於キマシテ、都市農村等ノ負擔ノ均衡ヲ圖ル爲ニ、此ノ負擔ノ不正ヲ生ジマスル痛デアリマシタ所ノ、特別戶數割ノ全廢ノ舉ニ出ラレマシタコトハ、多年特別戶數割ノ重壓ノ下ニ苦シンデ居リマシタ地方民ト致シマシテハ、非常ニ歡迎スルデアラウト思フノデアリマス、私ハ是等ノ點ニ對シテ執ラレマシタ内務當局ノ勞ヲ多トスル者デアリマス、然ルニ是ガ爲ニ又地方財政上種々ノ缺陷ノ生ジテ居リマスコトモ、是ハ否認スルコトガ出來ナイノデアリマス、第一ニ此ノ地方財政ノ彈力性ノ問題デアリマスガ、從來本會議及ビ此ノ委員會ニ於キマシテ、

大臣ガ御答辯ニナリマシタ點ハ、地方財政ヲ全般的ニ見マシテノ彈力性ニ付テハ、法人稅トカ、或ハ所得稅ト云フ風ナ彈力性ノアル好イ稅ノ一部ヲ交付スルコトニナツテ居ルカラ、彈力性ガアル、所謂地方財政ヲ全般的ニ見テノ彈力性ニ付テ御説明ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ私ガ御伺シタイコトハ、又極メテ重大ナル點ハ、箇々ノ町村ノ場合ニ於キマシテ、ソレノ年々獨自ノ變動ガアルノデアリマス、例ヘバ甲ノ村ニ於キマシテ災害ヲ被ツタ、傳染病患者ガ發生シタ、或ハ學校ガ燒ケタトカ、或ハ其ノ他色々ノ事故ガ突發致シマシテ、急激ニ財政ノ需要ガ増加スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是等ヲ補フノニ地租、營業稅、家屋稅等ノ附加稅ノ伸縮ニ依ツテ、此ノ賄ヲ付ケテ行ク、斯ウ云フ風ニ承ツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスト從來ノ戶數割ノ弊、何デモ財源ガ足りナイト戶數割ヘ持ツテ行ツテ課ケル、金ガ要ルト直グ戶數割ヲ増徴スル、ソコデ何モ彼モ戶數割ニ課カツテ行ツタモノガ、今度ハ地租ニ課

カル、營業稅ニ課カル、家屋稅ニ課カル、從來ハサウ云フ場合ニ於キマシテハ、市町村民全體ガ負擔ヲシテ居ツタ、勤勞所得者モ、配當利子所得者モ、預金利子所得者モ、全部ガ負擔シテ居リマシタガ、今度ハ營業ヲシテ居ル者、土地ヲ持ツテ居ル者、家屋ヲ持ツテ居ル者、是等ノ僅カナ者、限定サレタ者ノ頭ニ掛カツテ參リマスカラ、其ノ課稅サレル者ノ負擔ハ非常ニ高クナル、詰リ戶數割ノ弊害ガ、地租、營業稅、家屋稅ノ附加稅ノ上ニ現ハレテ來ル結果ニナル、之ニ對シマシテハドウ云フ匡救ノ方法ヲ考ヘテ居ラレマスカ

○兒玉國務大臣 戶數割ノ廢止ヲ致シマシタコトニ付キマシテ、此ノ戶數割ノ一番大事ナル點、伸暢力ト申シマスカ、此ノ點ニ付テ色々御心配ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、大體貧弱ナル町村ニ於キマシテ、只今御話ニナリマシタルヤウナ仕事スル場合ニ於キマシテハ、多クノ場合ニ於キマシテ之ヲ配付稅ノ配付方法ニ依リマシテ、其ノ地方ノ貧弱ナル町村ノ財源ヲ補充スルコトニ致シテ居リマスルノデ、却ツテ今回ノ制度ノ方ガ貧弱ナル農村ノ振興ノ爲ニ有效ナリ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今大臣ガ御答辯ニナリマシタ意味ニ於ケル特別ノ配付ヲ、貧弱町村ニ爲サリマスコトハ、私地方分與稅ノ内容ヲ見マシテ承知致シテ居ルノデアリマスガ、突發的ニ起リマシタ財政需要、サウ云フコトガ市町村ニ於テハ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ、例ヘバ配付稅額ノ一部ヲ保留サレテ居リマス、サウシテサウ云フヤウナ場合ニ、臨時ニ配付サレルト云フヤウナ御用意ガアルノデアリマスカド

ウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○扶間政府委員 便宜私ヨリ御答辯申上ゲマス、今回ノ稅制改正ニ依ツテノ彈力性ノ問題ハ、資力ノ豐富ナ團體ト貧弱ナ團體ト分ケテ考ヘル必要ガアリマス、資力ノ豐富ナ團體ニ付キマシテハ、今回ノ改正ニ於キマシテ、從來ノ營業收益稅ニ屬シマス營業課稅等ヲ全部地方財源ニ充テテ居リマス、制限外課稅ヲ致シテ居リマシタモノモ含メテ、今回ノ賦課率ヲ定メテ居リマス、而モソレニ對スル伸縮性ニ付キマシテハ、相當緩和ノ策ヲ講ジテ居リマスノデ、彈力性ノ問題ノ中ノ財政ノ伸縮性ト云フコトニ付キマシテハ、資力ノアル團體ニ付テハ、三收益稅ノ賦課率ニ付キマシテ、十分保持スルコトガ出來ルト思ヒマス、又伸暢性ト申シマスカ、其ノ點ニ付キマシテハ、例ヘバ配付稅ニ所得稅、法人稅等有力ナ稅種ヲ選ンデ居リマスカラ、其ノ點モ十分反映スルコトニナルト思ヒマス、ソレカラ財政極メテ貧弱ナ團體ニ付キマシテハ、御話ノ通り地租ニシマシテモ、殊ニ營業稅等ハ餘リ財源モゴザイマセヌ、隨テ戶數割廢止後ニ於ケル伸縮力ハ、可ナリ減殺サレルコトデアルト思ヒマス、併シ一面ソレ等ノ團體ハ、今回ノ改正ガ狙ツテ居リマスヤウニ、配付稅ガ從來ノ財政經理上ノ力ヨリモ、ズツト強ク配付セラレルコトニナルコトハ、大體ノ見透シトシテ間違ガナイノデアリマス、隨テ多少財源ニ餘裕ヲ生ジル場合ニ於テハ、ソレヲ蓄積致シマスツカ云フヤウナ方法デ、解決出來ルト思ヒマスシ、又非常ニ大キナ突發事件等ガゴザイマシタナラバ、其ノ際ハ已ムヲ得ズ一時ノ借入金ヲ致シマシテ、後年度ニ於ケル配付稅ノ配付ニ依リマシテ――

御話ノヤウナ財政救済ハ、恐ラク災害デア
ルトカ、或ハ小學校ノ焼失デアルトカ云フ
問題デアルト思ヒマスガ、後年度ノ配付税
ノ配付ニ依ツテ、財源ノ補填ハ十分出來ル
ヤウニナルダラウト思ヒマス

○西川委員 ドウモ故意ニ私ノ質問ノ要點
ヲボカシテ居ラレルノカト思ヒマスガ、突
發的ナ財政需要ガ起リマシタ時ニ、過年度
カラノ繰越金ニ依ルト云フヤウナコトハ、
町村財政ノ實際上サウ期待ハ出來ナイト思
フ、又ソレヲ一々全部ヲ起債等ヲシテ行ク
ト云フコトニナリマスルト、從來ノ起債ノ
手續其ノ他カラ考ヘマシテモ、非常ニ面倒
デモアリ急需ノ間ニ合ハナイ、又サウ云フ
ヤリ方其ノモノハ、市町村財政ノ上カラ考
ヘマシテモ喜バシイコトデナイ、其ノ時ニ
起債ヲサシテ置イテ、後デ配付税ノ點デ考
ヘテ行クト云フヤウナコトヲサレマスルト、地
方ノ財政ハ紊亂シテドウニモナラヌヤウニナ
ルト思フノデス、結局ハ其ノ年度ニ於ケル
市町村税ノ上ニ於テ、伸縮ヲ保ツテ行クヨリ外
ハナイト思フノデアリマスガ、從來ハ市町村民
ノ全部ガ、市町村ノ災害ニ於ケル苦痛ヲ共ニ
シテ負擔ヲシテ行ツタモノガ、今回ハ地租、
家屋税、營業税ノ納税者ノミガ、其ノ附
加税ノ負擔ニ於テ賄ウテ行カナケレバナ
ラス、是ハ何ト申シマシテモ一大缺陷デア
ル、一體伸縮性ヲ考慮シテ居ルト申サレテ
居リマスガ、其ノ伸縮性ハドノ程度デア
ルカ、最高ノ附加税ノ税率ハ何處ニ置カレ
居ルノデアアルカ、無制限ニ附加税ヲ課ケル
御積リデハナイト思フ、ソシテコトヲサレ
タラ又大變ナコトニナル、其ノ限度ヲ此ノ
際ハツキリ示シテ戴キタイト思ヒマス

○狹間政府委員 只今御話ノ地方町村ノ財

政經理ニ付キマシテハ、實ハ御存ジノコト
ト思ヒマスガ、現在ノ戸數割ガ便宜ノ税デ
アルト同時ニ、其ノ爲ニ非常ニ負擔ノ過重
ヲ來シテ居ルノデアリマス、私共ノ考ト致
シマシテハ、斯ノ如キ場合ニ過重ナル戸數
割ノ増徴ニ依ルヨリモ、寧ロ是ハ或ハ配付
税ノ蓄積トカ、後年度ニ於ケル配付税ノ分
與ニ依リマシテ解決スル方ガ、地方負擔ノ
均衡ヲ得ル所以デアルト考ヘマシテ、斯ウ
云フ風ナ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ
只今ノ三收益税ニ對スル賦課率ノ問題ニ付
キマシテハ、地方税法ニ規定致シテ居リマ
ス通り、一應ノ目途ト致シマシテハ、國税
ニ對スル百分ノ二百、詰リ土地デ申シマス
レバ、賃賃價格百分ノ四ニ該當スルモノヲ
限度ト致シテ居リマスガ、ソレヲ以テ從來
ノ制限率ト云フヤウニハ考ヘテ居リマセ
ヌ、併シナガラソレヲ超エマス場合ニ於キ
マシテハ、特別ノ場合ニ付キマシテハ百分
ノ二百四十マデハ、許可ヲ要セズシテ課徴
スルコトガ出來マスガ、其ノ他ノ場合及ビ
特殊ノ經費ニ付キマシテモ、二百四十ヲ超
エル場合ニハ、監督官廳ノ許可ヲ要スルコ
トニ致シマシタ、ソコデ監督官廳ニ於テ其
ノ團體ノ財政狀況、負擔ノ程度等ヲ考慮シ
マシテ適當ナル措置ヲ講ズルコトニ致シテ
居ルノデアリマス

是ハ實際上ノ問題デスガ、今度ノ税法ハ農
民ヤ中小商工業者、是等ノ市町村民ノ大部
分ヲ占メル者ハ、戸數割ガ、全廢サレルト
云フノ大變喜ンデ居ルガ、實際ニ此ノ税
法ヲ施行サレマスル時ニハ、其ノ喜ガ穠喜
ニ終ル、寧ロ私ハ怨嗟ノ的ニナリハシイカ
ト云フコトヲ極メテ憂慮スル、ソレハ只今
ノ局長ノ御答辯デモ甚ダ曖昧デアリマスガ、
地租百圓ニ對シマスル二百四十圓マデハ許
可ヲ要セズシテ課税スルコトヲ認メル、其
ノ上ハ許可ヲ要スル、其ノ許可ヲサレル限
度ハ一體何處ニ在ルカ、是ハ非常ニ賦課率
ハ高クナラザルヲ得ナイヤウナ狀況ニ、地
方財政ハ置カレテ居ル、サウスルト戸數割
ハ折角廢止サレテモ、其ノ戸數割ノ全廢デ
助ツタ者ハ、月給取或ハ金利所得者トカ、
配當利子所得者トカ、村ノ物持ノ連中ガ助
ツテ、サウシテ實際ニ働イテ營業ヲシテ居
ル者、家屋ヲ持ツテ居ル者、特ニ農村ニ於
キマシテ家屋ヲ持ツテ居ルノハ、自分ノ住
宅デアアル、又自分ノ作業ヲスル作業場デア
ル、ソレカラ自分デ田地ヲ耕作スル者、サ
ウ云フ者ノ負擔ハ非常ニ重クナツテ、戸數
割全廢ニ依ツテ助カル者ハ、月給取トカ、
或ハ金利所得者トカ、配當利子所得者トカ、
自由職業者トカ、サウ云フ風ナ者ダケガ助
ツテ、依然トシテ今日ノ農民ヤ中小商工業
者ハ、苦痛ヲ續ケテ行カナケレバナラスト
云フ處ガ多分ニアル、實際問題トシテ學校
ガ燒ケタカラ、取敢ズ復舊ヲシナケレバナ
ラス、本建築ニ於テハ起債モ致シマセウ
ガ、取敢ズ茲ニ二千圓ナラ三千圓ノ金ガ
要ル、サウシテ其處ノ戸數ガ五百戸デ、其
ノ中ノ百戸バカリハ金利所得者デアルト
カ、月給取デアルトカ、或ハ配當利子所得

者等ノ餘リ是等ノ附加税ノ課ナリ連中デ
アル、サウ云フ場合ニ中小商工業者ヤ農
民ダケガ其ノ負擔ヲシテ行カナケレバナ
スト云フヤウナコトニナリマスルト、町村
ノ圓滿ヲ害スル、實際問題トシテ町村制ノ
運用ガ出來マセヌ、ナゼカト申シマス、
今日市町村ニ於テ有力者ト云フ者ハ、大抵
御覽者サンデアルトカ、其ノ他ノ自由職業
者、是ガ町村デハ所得ノ一番多イ階級デア
ル、又村長サンノ中ニモ御覽者サンノ村長
サンガ澤山アル、又産業組合ノ組合長デア
ル、農會ノ會長ヲシテ居ル人モアリマス、
ソレ等ノ人ハ財力ガ裕カデアアル、ソレカラ
又今日ノ物持ハ單ニ田地ダケヲ持ツテハ居
リマセヌ、大概株券公債ヲ持ツテ居リ、大
口ノ預金ヲ持ツテ居ル、ソレ等ノ者ガ此ノ
負擔ヲシテ行カナイト云フコトニナリマス
ト、——是等ノ人ハ町村ノ指導者デアリマ
スガ、其ノ町村ノ指導者ガ、町村ガ災害ヲ
被ツタ時ニ、何等ノ自分ニ負擔ガ掛ラナイ
デ、寧ロ實際ニ苦シンデ居ル階級、中産以
下ノ階級ガソレ等ノ負擔ヲ皆負ウテ行カナ
ケレバナラスト云フコトニナリマス、是
ハ町村ノ圓滿ヲ害スル、戸數割ヲ廢止スル
ト云フコトハ、地方民ノ熾烈ナル要求デア
ル、ソレヲ廢止スルト云フコトハ餘程困難デア
ルト云フコトハ私共モ十分認メマス、ソレ
デ吾々ガ考ヘマシテモ、大體此ノ制度ニ近
イヤウナモノニ歸結スル外ハナイカト思ヒ
マスガ、併シ此ノ市町村税ノ負擔ニ對シマ
シテハ勤勞所得者モ、配當利子所得者モ、
應分ノ負擔ヲ何等カノ形式ニ於テスル、苦
ミヲ共ニシテ負擔力ニ相應シタ負擔ハスル
ト云フコトガ、茲ニ決ツテ居リマセヌト、
是デハ町村制ノ運用ハ出來ナイト思フ、是

○堀切委員長 西川君、内務大臣ハ間モナ
ク御出掛ケニナラナクテハナラヌサウデス
カラ、成ベク大臣ニ此ノ際願ヒマス

○西川委員 是ハ實ハ大臣ニ聽イテ居ルノ
デスケレドモ、大臣ガ御答ニナラスモノデ
スカラ(笑聲)ソレデハ其ノ點ハ大臣御答ニ
ナラスモノト致シマシテ、後廻シニ致シマセ
ウ、是ハドウシテモ大臣デナクテハイカヌ、

是ハ實際上ノ問題デスガ、今度ノ税法ハ農
民ヤ中小商工業者、是等ノ市町村民ノ大部
分ヲ占メル者ハ、戸數割ガ、全廢サレルト
云フノ大變喜ンデ居ルガ、實際ニ此ノ税
法ヲ施行サレマスル時ニハ、其ノ喜ガ穠喜
ニ終ル、寧ロ私ハ怨嗟ノ的ニナリハシイカ
ト云フコトヲ極メテ憂慮スル、ソレハ只今
ノ局長ノ御答辯デモ甚ダ曖昧デアリマスガ、
地租百圓ニ對シマスル二百四十圓マデハ許
可ヲ要セズシテ課税スルコトヲ認メル、其
ノ上ハ許可ヲ要スル、其ノ許可ヲサレル限
度ハ一體何處ニ在ルカ、是ハ非常ニ賦課率
ハ高クナラザルヲ得ナイヤウナ狀況ニ、地
方財政ハ置カレテ居ル、サウスルト戸數割
ハ折角廢止サレテモ、其ノ戸數割ノ全廢デ
助ツタ者ハ、月給取或ハ金利所得者トカ、
配當利子所得者トカ、村ノ物持ノ連中ガ助
ツテ、サウシテ實際ニ働イテ營業ヲシテ居
ル者、家屋ヲ持ツテ居ル者、特ニ農村ニ於
キマシテ家屋ヲ持ツテ居ルノハ、自分ノ住
宅デアアル、又自分ノ作業ヲスル作業場デア
ル、ソレカラ自分デ田地ヲ耕作スル者、サ
ウ云フ者ノ負擔ハ非常ニ重クナツテ、戸數
割全廢ニ依ツテ助カル者ハ、月給取トカ、
或ハ金利所得者トカ、配當利子所得者トカ、
自由職業者トカ、サウ云フ風ナ者ダケガ助
ツテ、依然トシテ今日ノ農民ヤ中小商工業
者ハ、苦痛ヲ續ケテ行カナケレバナラスト
云フ處ガ多分ニアル、實際問題トシテ學校
ガ燒ケタカラ、取敢ズ復舊ヲシナケレバナ
ラス、本建築ニ於テハ起債モ致シマセウ
ガ、取敢ズ茲ニ二千圓ナラ三千圓ノ金ガ
要ル、サウシテ其處ノ戸數ガ五百戸デ、其
ノ中ノ百戸バカリハ金利所得者デアルト
カ、月給取デアルトカ、或ハ配當利子所得

者等ノ餘リ是等ノ附加税ノ課ナリ連中デ
アル、サウ云フ場合ニ中小商工業者ヤ農
民ダケガ其ノ負擔ヲシテ行カナケレバナ
スト云フヤウナコトニナリマスルト、町村
ノ圓滿ヲ害スル、實際問題トシテ町村制ノ
運用ガ出來マセヌ、ナゼカト申シマス、
今日市町村ニ於テ有力者ト云フ者ハ、大抵
御覽者サンデアルトカ、其ノ他ノ自由職業
者、是ガ町村デハ所得ノ一番多イ階級デア
ル、又村長サンノ中ニモ御覽者サンノ村長
サンガ澤山アル、又産業組合ノ組合長デア
ル、農會ノ會長ヲシテ居ル人モアリマス、
ソレ等ノ人ハ財力ガ裕カデアアル、ソレカラ
又今日ノ物持ハ單ニ田地ダケヲ持ツテハ居
リマセヌ、大概株券公債ヲ持ツテ居リ、大
口ノ預金ヲ持ツテ居ル、ソレ等ノ者ガ此ノ
負擔ヲシテ行カナイト云フコトニナリマス
ト、——是等ノ人ハ町村ノ指導者デアリマ
スガ、其ノ町村ノ指導者ガ、町村ガ災害ヲ
被ツタ時ニ、何等ノ自分ニ負擔ガ掛ラナイ
デ、寧ロ實際ニ苦シンデ居ル階級、中産以
下ノ階級ガソレ等ノ負擔ヲ皆負ウテ行カナ
ケレバナラスト云フコトニナリマス、是
ハ町村ノ圓滿ヲ害スル、戸數割ヲ廢止スル
ト云フコトハ、地方民ノ熾烈ナル要求デア
ル、ソレヲ廢止スルト云フコトハ餘程困難デア
ルト云フコトハ私共モ十分認メマス、ソレ
デ吾々ガ考ヘマシテモ、大體此ノ制度ニ近
イヤウナモノニ歸結スル外ハナイカト思ヒ
マスガ、併シ此ノ市町村税ノ負擔ニ對シマ
シテハ勤勞所得者モ、配當利子所得者モ、
應分ノ負擔ヲ何等カノ形式ニ於テスル、苦
ミヲ共ニシテ負擔力ニ相應シタ負擔ハスル
ト云フコトガ、茲ニ決ツテ居リマセヌト、
是デハ町村制ノ運用ハ出來ナイト思フ、是

ハ内務當局ノ御説明デハイケナイカラ、事務當局ノ御意見ハ御聽ニナラヌデモ宜イト思フ、ソコデ内務大臣ハ自分ケデ御考ニナツテ、サウ云フ事態ガ町村制ノ運用ニ支障ガナイカドウカ、餘リ事務的ニ色々答辯ヲ御考ニナルト、ソレハ駄目デス、ソシテラアナタハ居ラヌデモ宜イ、特ニ私ガ大臣ニ御願シタイノハ、サウ云フ事務ノクダクダシタコトヲスツカリ打拂ツテ、アナタノ頭ケデ考ヘテ、サウ云フコトガ果シテ妥當デアリヤ否ヤト云フコトニ對スル判斷ヲシテ御答辯ヲ御願シタイノデス

○兒玉國務大臣 御質問ニ御答フ致シマス、大體今回ノ稅法ノ建テ方ガ、地方ノ殊ニ貧弱ナル農村ニ確實ナル財源ヲ與ヘマシテ、地方ノ事業ノ振興ヲ圖ツテ行キ、自治制度ノ發展ニ資スル、斯ウ云フノガ趣旨デアリノデアリマス、隨ヒマシテ地方民ニ迷惑ヲ掛ケ、地方民ガ嫌喜ニナルヤウナ結果ニナラヌヤウニト云フコトハ、根本ニ於テ考ヘテ居ル點デアリマス、隨ヒマシテ今回ノ地方稅ハ、中央ト地方トヲ通ジマシテ全體的ニ之ヲ考ヘテ見テ、如何ニシタナラバ斯ノ如キ目的ヲ達スルコトガ出來得ルカト云フコトガ主眼デアリノデアリマス、ソコデ大體ニ於テ設ケラレタ所ノモノハ、一面ニ於テ獨立稅ヲ認メルト同時ニ、一面ニ於テ配付稅ニ依リマシテ之ヲ補充シテ行カウ、是ガ建前デアリノデアリマス、加之此ノ市町村ノ個人々々ノ問題ヲ考ヘテ見マス、成程配當所得者等ニ付テ直接ノ課稅ハナイニ致セ、御承知ノヤウニ配付稅ノ稅源ニナツテ居リマス所得稅其ノ他、是等ニ於テ相當ノ負擔ヲ受ケ、是ガ市町村ニ還元サレ、斯ウ云フ形ニナツテ居リマスノデ、必ズシ

モ中小業者ノミガ負擔ヲスルト云フコトデナシニ、總體的ニ考ヘテ見マシテ、負擔ノ均衡ハ自ラ得テ行クト云フ關係ニナツテ居ルト思ヒマス、而シテ尙又御承知ノヤウニ、假令收入ハ主ナル目的トシタノデハナイト言ヒマスガ、所謂市町村稅ノ設置ト云フモノガ、ココニ又自ラ作用ヲ加ヘテ行クト云フコトニナリマスノデ、斯ノ如クシテ考ヘテ見マスナラバ、市町村ツレ自身ノ財政ハ、配付稅ノ形ニ依ツテ茲ニ都市農村ヲ通ジテ均衡ノアル稅源ヲ得テ、而シテ恆久的ニ町村ノ發展ヲ期スルコトガ出來、且又自治ノ精神カラ申シマスレバ、町村民稅ノ勵キニ依リマシテ、各自治ノ幾分カラ分擔スルト云フ精神ヲ養フコトガ出來、且又一部配當所得者等ニ付テハ、所得稅其ノ他ノ方法ニ依リマシテ自ラ之ニ課稅ヲ受ケテ、其ノ課稅ハ自然ト其ノ町村ニ還付サレ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、私ハ今御話ニナリマシタ通り、今回ノ稅制ハ地方ノ振興ノ上カラ見マシテモ、亦自治ノ振興ノ上カラ見マシテモ、國稅地方稅ヲ通ジテノ大體ノ系統カラ見マシテモ、洵ニ當ラ得タルモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今ノヤウナ程度ノ御説明ナラ御説明ヲ戴カヌデモ、私共質問ヲスルニハ相當研究ヲシテ質問ヲスルノデスカラ承知致シテ居リマス、ソレハ私ノ質問シマシタ點ニ觸レテ居ラナイ、是デハ所得稅ヲ負擔スルカラ地方稅ヲ負擔スル形ニナル、ソレハ土地ヲ所有致シテ居リマス者モ、營業ヲシテ居リマス者モ、其ノ營業所得ニ對シマシテ、其ノ事業所得ニ對シマシテ、或ハ又其ノ不動産所得ニ對シマシテ、是ハ同ジク負擔シテ居ル、市町村民稅モ同ジク

負擔シテ居ル、ソレカラ又此ノ營業稅、地租、家屋稅ニ對スル附加稅、是モ一應ノ均衡ヲ考慮シテ居ラレルト云フ其ノ點マデモ吾々ハ認メル、ソレハ併シ大イニ議論ガアリマス、大イニ其處ニ不公正、不均衡ガアリマスカラ、是ハ大藏大臣トノ間ニ徹底的私ハ糾明シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレヲ一應認メルトシテモ、尙ホ町村ノ臨時ノ財政需要ヲ生ジタ時、唯此ノ三稅ノ納稅者ノミガ附加稅ニ依ツテ負擔シナケレバナラヌ其ノ不公正、而モ不公正ヲ不正トシテ我慢サレルナラバ宜イガ、市町村ノ實情ニ於キマシテハ、市町村ノ有力者ト云フ者ハ、皆相當ナ勤勞所得ヲ持ツテ居ルトカ、配當利子所得ヲ持ツテ居ルトカ、金利所得ヲ持ツテ居ル、是等ノ村ノ指導者デアリ、有力者デアル者ニ、何カ其ノ村ニ不幸ガ起ツタ時分ニ、直接何等ノ負擔ヲ加ヘテ來ナイ、是ハ實際問題トシテ、是デハ市町村ノ圓滿ヲ圖ツテ行クトガ出來ナイト思フ、此ノ點ハ餘リ諄イヤウデアリマスガ、ドウシテモ此處解決ヲ付ケテ置キマセスト、之ヲ實施シタ時大變ナ問題ガ起ル、コナ稅法ニ協賛シタノデハ吾々村ノ歸レナイ、此ノ點ニ對シマシテ、大體此ノ稅法ニ書イテアリマスコトヤ、今マデノ御説明ニナツタコトハ私共承知シテ居リマスノデ、サウ云フ御答辯ハ要リマセヌカラ、唯其ノ點ニ對シマスル善後處置ヲ講ゼラレル御意思ガアリマスナラバ、ソレデ宜シイ、ケレドモ只今ハ妥當ナモノト仰セラレマシタガ、ソレデハ私共濟マサレナイ

○兒玉國務大臣 幾ラカ意見ノ相違ニナツテ居ル點ガアルト思ヒマスガ、大體ニ於テ今回ノ地方稅ハ、中央ト地方ヲ通ジテ如何ナル負擔ヲ住民ガ負フカト云フコトニ御覽下サルナラバ、私ノ只今申上ゲタコトガ適切デアルト云フコトヲ、十分ニ御理解願ヘルト思ツテ居リマス

○堀切委員長 天災地變ナドノアツタ場合モ、尙ホ是デ宜シイカ、其ノ點ガ殊ニ重キヲナスヤウデアリマスガ、大火事ナドノアツタ場合ナドハ如何デセウ

○兒玉國務大臣 或ル町村ニ天災地變ガアツテ如何トモスベカラズト云フ時ハ、臨時ノ處置ヲ執ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、併シナガラ只今地方局長ヨリ御話ノアリマシタ通りニ、大體分與稅ニ於キマシテ之ヲ救濟シ、尙ホ足ラザル所ニ於キマシテハ市町村債ヲ認メマシテ、此ノ償還或ハ利子ノ補給等ノ方法ハ、之ヲ分與稅ノ形ニ依リマシテ補給シテ行クト云フ事柄ニ依リマシテ、一應ノ天災ニ對シマスル應急ノ對策ハ付クト思フノデアリマス、ソレ以上ニ大キナ天災ガアリマシタ時ハ、國家トシテ其ノ場合ニ適當ナル處置ヲ執ルヨリ方法ガナイト思ヒマス

○西川委員 臨機ノ處置ヲ執ルト云フコトヲ言ハレマスガ、私ハ其ノ災害ノ善後處置ニ付テノ財源ヲ、何處ニ求メルカト云フコトヲ言ウテ居ルノデハナイ、サウ云フ場合ニ於ケル負擔關係、殊ニ私ガ前ニ申上ゲマシタヤウニ、地方團體ノ協同社會的性質ニ付テ、十分ニ御留意ニナツテ居ラナイカラ、斯ウ云フ結果ガ起ツテ來ル、地方團體ノ問題ニ付テハ、其ノ居住民ガ全部其ノ能力ニ應ジテ負擔シテ、其ノ結末ヲ付ケテ行ク、斯ウ云フ建前ニナツテ居ラナイカラ、斯ウ云フ結果ガ起ル、是ハ實際ノ自治ノ運用ニ付テ、將來内務大臣トシテ御困リニナ

ル事態ガ發生スルト思フ、併シナガラ玆ニ幾ラ諄イコトヲ申シマシテモ、此ノ問題ニ付テ大臣カラ満足ナル答辯ヲ得ラレル見込ガアリマセヌデ、是ハ他ノ委員諸氏カラ次々ニ亂明サレル點デアリマセウシ、私人ガ獨占スルニモ及ブマイト思ヒマスカラ、此ノ程度デ打切ツテ置キマス、念ノ爲ニ伺ツテ置キマスガ、此ノ稅制ニ於キマシテハ、地方稅ノ負擔ニ於テ土地ヲ持ツテ居ル者、又事業所得者、家屋ヲ持ツテ居ル者、ソレ等ニ對シマシテ勤勞所得者、金利取得者、配當利子取得者トノ間ニ大ナル不公正ガアル、差別ガアルト云フコトハ、是ハ何ト説明サレマシテモ、否定シ得ザル事實デアリマス、ソコデ是等ノ缺陷ヲ矯正致シマスル爲ニ、市町村民稅ノ課稅ニ於キマシテ、同ジク千圓ノ所得ヲ持ツテ居ル者デアリマシテモ、他ノ方面ニ於テ地方稅ノ負擔ヲ免カレテ居ル者ニ對シテハ、市町村民稅ニ於テ相當ニ考慮スルコトヲ許サレルカドウカ、之ニ依ツテ是等ノ缺點ヲ幾分デモ是正サレル所ノ意思ガアルカドウカ、此ノ一點ニ付テ御同致シマス

○兎玉國務大臣 市町村民稅ヲ設置致シマシタ趣旨ハ、先程申シマシタ通りニ五千萬圓ヲ基準ト致シテ居ルノデアリマスガ、主ナル目的ガ所謂地方民ノ責任分擔ノ精神ニ出デタモノデアリマスノデ、收益ノ點ニ重キヲ置イテ居ラヌノデアリマス、隨ヒマシテ市町村稅ヲ課ケマス所ノ範圍ハ、恐ラクハ從來ヨリモ稍、廣汎ニ互ルコトト思ヒマス、又此ノ稅率ノ如キハ成ベク之ヲ少ク致シテ、成ベク廣ク課ケルヤウナ主義ヲ執ツテ居ルノデアリマス

○西川委員 私ハ此ノ稅制ニ關シマシテ、

地方制度ノ問題ニ付テ是非トモ御質問シナクテハナラヌト思ヒマスガ、他ノ委員カラモ御質問ガアルデアリマセウカラ、大臣ノ時間ノ點等モ考慮致シマシテ、此ノ點ハ私ノ質問カラ省略シテ置キマス、唯私ハ此ノ際部落團體ノ問題ニ付テ一點伺ヒタイト思ヒマス、部落團體ノ問題ニ付キマシテハ、近年政府ニ於テモ漸次之ニ……

○堀切委員長 西川君、內務大臣ハ今行カナイト間ニ合ハナイサウデアリマスガ、此ノ次ニ留保シテ戴ケマセヌカ、又內務大臣ハ來テ下サルサウデアリマスカラ——明日ハ午後一時カラ開キマス、總理大臣初メ商工大臣ノ出席ヲ此ノ間カラ希望シテ居ルノデスガ、マダオ出デガアリマセヌ、オ出デガナケレバ隨テ審議ガ遅レマスカラ、其ノ旨御傳ヘ願ヒマス、ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日午後一時カラ開會致シマス

正午散會